

9 NATURE

ありのままの世界

新しい友達に東京を案内しよう！



『毎日パンダ』
 -365 日上野動物園に通っているよ日記-』
 高氏貴博／著 平凡社
 上野動物園に毎日通って、パンダのリーリーとシンシンの写真を取り続けた、人気ブログが本になった。春はタケノコを食べ、冬は雪とたわむれる、1冊まるごとパンダの本！



『ぷちバス散歩 一日はコミュニティバスにのって 東京 23 区コミュニティバス路線めぐり-』
 講談社／編 講談社
 同じ区の中だけを走る、コミュニティバスって知ってる？ 荒川区にもある「さくらバス」に乗って、たまにはのんびりお散歩してみよう。地元のこと、もっとよくわかるかも。
 ※時刻表などは 2014 年 11 月現在のものです。



『へんななまえのへんないきもの』
 アフロ／著 中経出版
 なんだこりゃ？ ヘンテコ生き物大集合！ 鳴き声が「ワハハ」な野鳥の「ワイカワセミ」。木登り苦手な空飛ぶサル「フィリピンヒョケザル」。まだまだいるよ！ 愛すべきヘンテコ生き物たち。



『江戸かわいい動物 -たのしい日本美術-』
 金子信久／著 講談社
 「江戸時代を代表する絵師の作品群」だけど、堅苦しそうなる美術書とは一線を画したかわいい動物たち！ 江戸人はこんな絵を愛でていたのかと、ページをめくるときにキュンとします。



『思い出をレスキューせよ！』
 -“記憶をつなぐ”被災地の紙本・書籍保存修復士-』
 堀米薫／著 くもん出版
 「紙本・書籍保存修復士」の金野聡子さんが、東日本大震災の時に津波で汚れてしまった写真などを洗浄し、失われかけていた思い出を被災者に返却していくまでの苦難を綴った本。



『おもかげ復元師』
 笹原留似子／著 ポプラ社
 「復元師」とは、傷みの激しい遺体を復元し、残された人々の死を受け入れるお手伝いをする。震災時、400人以上の遺体に微笑みを、その遺族に希望を与えたドキュメンタリー。



『潮目 -フシギな震災資料館-』
 片山和一良／著 中村紋子／編・写真 ポット出版
 東日本大震災のガレキで造られた、震災資料館を紹介。心に刺さる震災の悲惨さと、それを受け止めて、ポジティブに明るく生きる人たちの両面を伝えています。



『地震防災 はじめの一步』
 家族で学ぶ-』
 大木聖子／著 東京堂出版

地震はどうして起こるの？ 学校の中で地震が起きたらどうしたらいい？ 家の中で地震が起きたら？ 避難する時の注意点や防災マップの作り方などをわかりやすく解説してよ。

海の事故から身を守る。

『海の訓練ワークブック』
 -海の仕組み／手旗信号／カッター・カヌー／水泳／航海知識／ロープワーク／船図鑑-』
 日本海洋少年団連盟／監修 成山堂書店

海で暮らしていくための、あらゆる基本的なことを、詳しくご案内。臨海学習へ行く前に読んで身につけておくと、皆からリスペクトされるかも！

